

「人工降雨」発表会開催のお知らせ

日 時：2012年6月25日（月）15:00～16:00

場 所：日本学術会議5階会議室5-A(1)号室

（〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34）（Tel. : 03-3403-3793）

開催趣旨（経過と目的）：

日本学術会議・農業生産環境工学分科会では、2008年1月24日付けで、对外報告「渇水対策・沙漠化防止に向けた人工降雨法の推進」を発出したところである。

その後、発出当時の分科会委員長等を中心に、液体炭酸散布による人工降雨法実験を北九州（福岡・佐賀）付近で行い、研究を推進してきたところであるが、このたび、2012年2月26～27日に、三宅島・御蔵島付近で液体炭酸散布による人工降雨法を実施した結果、所期の実験成果が得られたので、その結果を公表するとともに、研究活動・成果を今後の本手法の推進につなげていきたいと思う。

プログラム

（1）液体炭酸人工降雨法の適用－三宅島・御蔵島付近での実験結果－

○真木 太一（筑波大学 生命環境系、日本学術会議連携会員、九州大学名誉教授）

守田 治（福岡大学環境未来オフィス教授）

脇水 健次（九州大学大学院農学研究院助教）

西山 浩司（九州大学大学院工学研究院助教）

鈴木 義則（日本学術会議連携会員、九州大学名誉教授）

（2）三宅島周辺での人工降雨実験－レーダ画像解析を中心として－

○守田 治（福岡大学環境未来オフィス教授）

（3）討論会

司会：農業生産環境工学分科会副委員長 真木太一（筑波大学客員教授、九州大学名誉教授）

連絡先

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学生命環境系（農林技術センター）

真木太一 T・F：029-853-2558 maki.taichi.fe@u.tsukuba.ac.jp